



北剣連会報

東京都北区剣道連盟

No.83

2018.1

事務局 114-0023 北区滝野川 5-35-9 (星野方) ☎ 03-3916-0109 FAX 03-3917-0023

ホームページ <http://kitakenn3.jimdo.com/>

年頭挨拶

北区剣道連盟会長 工藤 秀丸



新年明けましておめでとうございます。

一昨年から、懸案であった北剣連の新規約作成に取り組んで参りました。それもようやく完成に至り、来年度(平成三十年四月)から新規約を施行することとなります。改正委員の皆様方はじめご協力戴きました多くの方々に深く感謝申し上げます。さて、昨年は大相撲の問題が大きなニュースとなり、年を越しても未だに決着に至らず、今後、どうなることか心配です。相撲協会内部の問題はさておき、発端となった貴ノ岩に対する暴行疑惑のインタビューで日馬富士は「後輩に礼儀、礼節を教えるのは先輩の努め」と話してい

ました。先日、今も稽古をお願いしている私の恩師がその話題について、『酒が入らない席で、教えるべきだろう』と的を射た話をされました。なるほど、そうすれば暴力もなく、引退もなかったかもしれないと深く考えさせられました。

また、この事と同時に横綱の品格や気品が問題になりました。心・技・体、全てに完璧を求められる横綱の品格とは一体何なのでしょう。

「品格」を辞書で引くと「品の良しあし」「すぐれた気品」「品位」などがあります。では、それほどのようにして身につけ、向上させればいいのかという難しい問題が残ります。

剣聖、持田盛二先生は「気品とは正しい心、澄んだ気から自然に発するとも言われぬ気高さである。」と述べられています。何かヒントを与えられたような気がします。

本年も楽しく、剣を交えながら、自身の技量、品格の向上を目指して頑張ってください。皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。新年の挨拶と致します。

遠出稽古

田端剣友会 坂井 誠



中之条町四万温泉に初参加しました！

今回の遠出稽古は永らく名幹事としてお世話戴いた関口敏弘先生が勇退されたため、副理事長の小川先生、賀集先生を幹事として九月二十三、二十四日の連休に新企画で行われました。参加人数は四十数名、宿泊先は群馬県中之条町四万温泉です。実は北区は中之条町と交流関係があり、それは戦時中に滝野川地区の小学生が四万温泉を中心に学童疎開をしたことに由来します。そのような縁で中之条町剣道連盟と交流すれば、北区体協より二十万円の補助金が出る話になり、中之条町への遠出稽古となりました(そのため参加費は例年より二千円安くなりました！)。

前夜の雨も上がり、八時過ぎに王子三角公園を出発し、王子南インテアより高速へ。私を含め初参加組の自己紹介のあと、早速アルコール、おつまみが配られ宴席開始となりました。後方座席はマイク離さずにぎやかとなり、漫談や怒号も飛び交い、たちまち一升瓶は空に(主にスリート剣友会の先生方が活躍)。その後、若手の工藤先

生(東田端)の司会で東剣連の二十三区の段別登録者数を基にしたクイズタイム。北区は総数359人で十六位。城北五区は最多の練馬区、最小の荒川区が含まれると。クイズ正解者には景品が。賀集先生よりアルコールは十一時までとのお達しがあり、バスが群馬(上州)にはいるとガイドさんの上州観光や温泉の紹介の流れるような名調子。連休のため心配された渋滞もなく、ほぼ定刻に伊香保温泉近くの水澤亭で舞茸の天ぷら付きのうどん定食をおいしく頂きました。

その後、二時前にいよいよ稽古場所の中之条町総合体育館へ。中之条町剣道連盟の方々の出迎えを受け、準備運動、集合写真のあと早速剣道、杖道、居合道の稽古にはいりました。剣道前半は岡橋先生指導の下、中之条町の剣士の方々と一緒に基本打ち、基本稽古をみっちり行いました。後半は七段の先生方を元立ちに稽古。この頃には地元の中高生も加わり、総勢百名位となり広い体育館に熱気がほとばしりました。最後に梶田先生、賀集先生による杖道演武、吉澤先生と居合道部の先生方による演武と一緒に披露されました。中之条町剣道連盟とはこのように交剣知愛ができ、また稽古中には冷飲料の提供も受け、お世話になり感謝いたします。

稽古後、剣道着のままバスに乗り宿泊先の国民宿舎ゆずりは荘へと向かいました。車中で部屋割りの案内があり、チェックイン後、直ちに源泉かけ流しの浴場で稽古の汗を流しました。深い木々に囲われ、川のせせらぎの聞こえる露天風呂はまさに極楽の境地(紅葉の頃はもっと素晴らしいでしょう)。六時に大広間に集合。工藤会長より遠出稽古の目的は第一に稽古、第二に親

睦、第三に観光との挨拶があり、安部先生の乾杯の発声で宴席開始。美味しい料理、お酒を味わい歓談しつつ、審判旗を使ったゲームタイムが開始。アナウンスに合わせた紅白の旗の上げ下げは試合本番さながらの審判の境地か。勝ち抜き戦を制し、見事優勝したのは高橋悦子先生でした。宴もたけなわとなると珍芸、奇芸の出番(ここでもスリーT剣友会の先生方が活躍、きわどい芸もありました)。最後は大久保先生、関根先生のアカペラの音頭に合わせて九万田先生を先頭に、前の人の肩に手を乗せ列をなして大広間を回りました。九万田先生の雄叫び「これで北剣連は一つになった!」初参加の猪野先生の万歳三唱で開きに。その後はカラオケルームで二次会も行われました。なお宴会中、ホールではこの宿の売りであるピアノとサクソフォンの演奏も行われていました。

今回、二日目は朝稽古がないため、ゆっくり朝風呂につかり、付近の散策や道路沿いの足湯など、各自八時の朝食まで過ごしました。好天となり、宿舎の前で集合写真のあと九時にバスに乗り込み、八ッ場ダム観光に出発。八ッ場ダムは例の民主党政権で建設中止とされたものの、関係者の猛反発で工事が再開されたいわくつきのダム。途中より専属ガイドがバスに乗り込み詳しい説明を受け展望台へ。ダム完成時には川原湯温泉はじめ水没する地域を眺めながら首都圏の水がめとなるのは複雑な心境でした。昼食は浅間酒造観光センターですきやき定食を頂き、各自お土産の買い物。日本酒の試飲コーナーもありました。帰路は行きと違って車内は静か。ゆっくり飲む人、眠る人、今は亡き懐かしい俳優の多い「釣りバカ日誌」の映画を見る人など。

渋滞もなく五時前には王子に着き、無事解散となりました。

稽古のあとの温泉、美食・美酒は月並みな言葉ですが最高でした。特に山あいの温泉はリフレッシュできました。工藤会長はじめ、執行部・婦人部・若手役員の先生方にお世話になり、本当に有難うございました。次回も稽古・親睦・観光を合言葉に時間の許す方は是非、遠出稽古に参加いたしましょう。

遠出稽古

居合道部 額賀 正次



―四万温泉へ―初参加して

私は昨年(平成二十八年)四月から居合道の稽古に参加させていたでいます。杖道も都合のついた時は一緒に稽古をしております。居合道は教士七段、杖道は錬士六段で現在七段受審中です。

居合道におきましては三十数年前になりますが、剣道・居合道・杖道の三道範士になられました居合道九段 棚谷昌美先生のご指導をいただきながら、吉澤菊夫先生・遠藤京子先生と一緒に稽古に励んだご縁等もありまして北区剣道連盟居合道部と一緒に稽古をさせていただくことになりました。

私事になりますが、会社勤めをしておりまして時間が不規則で住んでいる所が相模原ということもありまして、稽古に参加出来る機会も少ないですが、行事等にはできるだけ都合をつけ参加しようと思っております。

私は、北区剣道連盟に所属して、約一年六ヶ月になりますが、剣道をやっていない事もありますが、ロッカーや稽古場の交代等で顔はよく合わせるのですが、役員の先生方のお名前や顔も存じ上げない状態でした、良い機会だとの思いもあり遠出稽古に参加しました。

遠出稽古と云う事ですが、私は居合道と杖道もできそうだと云う事だったので居合刀と杖を持って半分は旅行気分で見加しました。

九月二十三日(土)八時、王子三角公園前出発と云う事だったので、相模原の自宅を五時五十分自転車で乗って出発し、相模線番田駅を六時ちょうど電車で乗り込みました。土曜の早朝でしたが電車の中は、空いておりましたが、乗っているお客様は、ほぼお仕事で出勤する様子でした。橋本駅で京王線に乗り換え新宿へ。橋本駅始発から新宿駅終点と云う事でここは楽でした。新宿駅から埼京線で赤羽駅へ行き乗り換え王子駅へ到着しました。王子駅に着いたのが七時五十分、バスの待ち合わせ場所の三角公園前へ七時五十分到着し出発五分前と云う事です。王子駅に着いたのが七時五十分、公園は初めての場所でしたが、前もって案内図をいただいておりますのですぐわかり助かりました。バスの中はほぼ全員乗り込んでおり吉澤先生が緑川先生を駅の方へ迎えに行くと云う事でした。

私は居合道の佐藤さんが席を空けてくれておりましたので、佐藤さんの横へ座りました。全員そろってほぼ八時バスは無事に、王子三角公園前を出発しました。

王子インターから、高速を一路、渋川伊香保インターへ向かいました。バスの中では、まずがっちりした体格のベテランの運転手さん・九州出身のちよっとポツ

チャリした若いガイドさんの挨拶がありました。それからは役員の先生方のご挨拶があり、二日間の行程案内等がありました。バスの中は、若い人たちとガイド

さんを中心にぎやかに、渋川伊香保インターから昼食場所、渋川市伊香保町水沢の水澤亭へと進んだ。水澤亭での昼食

後、稽古場所の中之条体育センターに到着した。稽古場所では大勢の地元の剣士たちの出迎えを受けた。午後二時から二時間の稽古でした。大勢の剣道の稽古の中、一部を利用して私と緑川先生・吉澤

先生・橋本先生・佐藤さんは居合の稽古、熊谷さんと賀集薫さんは杖道の稽古をしました。稽古の最後に居合道と杖道の演武をしました。杖道の演武には、賀集映二さんと梶田郁男さんも加わりました。十月八日の杖道全国大会には四段の部で出場予定されております。稽古の最後に演武もありましたので緊張感もあり良かったと思います。

稽古後バスに乗り込み約四十分で宿舍の四万温泉、中之条町国民宿舎「四万ゆずりは荘」に到着しました。まず風呂に入りましたが、露天風呂もあり源泉かけ流し、くつろぎと癒しのひとときをと、案内書に書いてありましたが、その通りゆつくりできました。その後の夕食・宴会はゆつくりと懇親会も兼ね良

かったと思います。二次会のカラオケは若い人のパワーに感心しております。

二日目二十四日は、朝食後、八ツ場ダム建設現場へ見学に行きました。以前台風により大きな水害の原因になったと云う事でしたが、八ツ場ダムが出来れば防げると云う事でした。スケールの大きさに感激しました。

その後、長野原の浅間酒造にて昼食後、碓氷・軽井沢インターから一路王子インターへ、早めに帰路についたこともあり、渋滞に巻き込まれずに、早めに帰って来れました。

皆様方に大変お世話になりました。ありがとうございました。

剣友会だより

建武館から建武会へ

建武会 佐藤政雄



建武会は平成三年十一月に建武館道場の閉鎖に伴って荒川小学校を稽古場として発会し、初代会長大島日出太先生、二代目一円先生、三代目秋山先生、現四代目小林先生と受け継がれ、平成二十九年十一月で満二十六年になります。

ここでは建武会の前身である建武館についてお話しします。

建武館道場は、今から九十一一年前の昭

和二年七月に北区中十条の地に、大島治喜太範士に依って建てられました。大島範士はまだ出来たばかりの京都の武術教員養成所（後の武道専門学校）に明治三十九年四月に第二期生として入所。第一期生の先輩には斎村五郎範士が、また持田盛二範士は同期生です。昭和六年、四十二歳で範士を受領。

大島範士の稽古好きは有名で、建武館の館則に、「稽古日は一月一日に始まって十二月三十一日まで」と有り、つまり年中無休としました。範士は早朝に建武館で稽古をし、午前中は警視庁、皇宮警察、陸軍戸山学校、士官学校の何れかで一回、午後は東大、法政大の他、学校関係で一・二回稽古に出掛け、帰ってきて夜また稽古するのが日課でした。それでも範士は建武館で毎日朝晩の切り返しを欠かさなかったそうです。稽古では、下の者をいじめるような者に対しては厳しく指導したそうです。曰く「どんな下手な者と稽古する時でも、その人一人の為に自己の全力を使い切ってしまう稽古をしなければだめである」と、また「自分は、一生涯の中に宮本武蔵、山岡鉄舟のところまでいけるように努力したい。」と高い理想を持ってました。居合にも熟達しており、映像が残されてますが、その切り下げる刀はへそまでも届くような迫力があります。また書も達筆でやはり剣道家らしく気迫に満ちています。

範士が一番好きなのは剣道ですが、次がお酒で有ります。建武館の館則を作るにあたって「酌する者は稽古をなすべからず」としませんでした。つまり、酒を飲んでもよいが酔っ払っ

て稽古をしてはいけないということでした。範士は朝五合、昼五合、夜一升のお酒を呑まれたそうで範士らしい館則と言えます（笑）。大島範士は道場で死ねれば本望であると言っていました。昭和十四年、五十歳の若さでまだこれからというときに、道場で倒れ翌朝そのまま息を引き取りました。号は剣涯と言います、自己の一生涯を剣道に捧げられました。何事にも中途半端なことが出来ない性格でしたので、過酷な稽古量による心身の消耗、そしてお酒が範士の体を蝕んでいたのでしょう。長生きされれば、間違いなく十段になられて剣道界に多大なる貢献されたでしょう。建武館生としても非常に残念です。範士は書も達筆で号は「剣涯」であります。

戦後、サンフランシスコ講和条約の発効（昭和二十七年）にもない連合国軍の占領が解かれると大島日出太先生が二代目館長として昭和三十二年道場を再開しました。その後建武館からは四人の八段（逸見和夫範士、大塚七蔵範士、岡田嘉一範士、筒井正教士）が誕生し外からも堀口清範士、中島五郎蔵範士などの大先生もいらしてました。幅9m、奥行7mの狭い道場でしたが、隣とは肩がぶつかる程大勢の人が来て皆激しく厳しい稽古に汗を流してました。

北剣連においても大塚先生、大島日出太先生が会長を務めました関係で、建武館で暑中稽古、寒稽古を合同で行い、総会などもおこなっていた時期が有りました。大島治喜太範士は貰った給料を弟子に使ってしまうので、毎年二月十日の命日には、弟子であった小川忠太郎範士九段、庄子宗光範士（元全剣連会長）、

玉利三之助範士九段らの先生方が集まって大島範士を偲ぶのが恒例で、貴重な思い出話を頂戴しました。

小川範士は普段もよく来られました。

剣道理念、宮本武蔵や山岡鉄舟などの剣豪の話、直心影流、座禪、不動神妙録、猫の妙術等、多岐にわたって興味深いお話を頂きました。建武館の稽古は、当てっこの剣道ではなく、真剣のつもりで斬るようにと教えられました。また中心を外さない先生が多かったので面に行けば喉に突っかかり仰向けにひっくり返ることもしばしばでした。

稽古が終わるといつも熱いお茶が出ます。そのあと大島日出太先生が奥から一升瓶を持って来て皆にふるまいます。このときは古今の剣道家、歴史人物や新選組などの話に花が咲いて大変楽しいものでした。そのあとは赤いちょうちんに吸い寄せられて。稽古後のお酒の伝統は反省会と称して、建武会になっても今も受け継がれます(笑)。
以上、思いつくままに建武館についてお話をいたしました。



(大島治喜太範士)

第一回 田端剣友会錬成大会開催

田端剣友会副会長 佐藤明充

平成二十九年十月一日、田端小学校において第一回田端剣友会錬成大会が開催されました。

事前のアナウンスが不十分であったにもかかわらず、参加人数が二十四名(剣道用具未着用者八名、小学一年生三名、小学二年生六名、小学三年生一名、小学四年生二名、小学五年生一名、大人三名)のほり九十%以上の田端剣友会所属の子供達に参加して頂きました。

大会開催に先立ち、竹淵孝治田端剣友会会長に大会審判長をお願いし、田端剣友会所属の先生方で当日の役割を分担して大会に臨みました。その結果、試合は滞ることなく進行し、子供達は大会に集中して取り組みことが出来ました。また怪我人は一人も出ず定刻までに全ての内容を終了することができました。一重に諸先生方並びに剣友会関係者の皆様のご協力があったのだと思います。改めてお礼を申し上げます。

さて今回開催するきっかけとなったのは、伊藤宏先生の提案が一番大きかったと思います。伊藤先生は、日頃より剣道初心者を中心に指導されており、その成長を常に目にしておりました。その中で、同じ子供にも関わらず剣道具を付けて試合ができる子供達は、年二回開催される北区剣道大会に参加し腕試しができますが、剣道具を付けていない子供たちは試合に参加することができず、日頃の

稽古の成果を発揮する場がないのは残念であると感じていたようです。そこで、北区剣道大会前に剣友会の中だけで剣道初心者も参加できる錬成大会ができれば素晴らしいと考えられ、発案に至ったのだらうと推測します。

竹淵会長は、その提案に快く応諾されて、私の方から提案させて頂いた試合方法を一部修正して最終的な試合内容として確定されました。試合形式は、全て個人戦とし子供達を三つのパート(パート一：初心者、パート二：小学一年生、パート三：小学二年生、小学四年生+一級以下の大人)に分けます。小学一年生は、人数が少なかったためリーグ戦にし、それ以外はトーナメントにします。そしてパート毎に優勝者を決めます。

試合方法ですが、剣道修錬度合の確認を目的にしたかったので、有効打突を競い合う三本勝負ではなく、全て判定試合にしました。パート一は、対戦する二名を紅白に分け、最初に前進後退すり足、次に前進後退面、最後に面打ちを四本行って判定します。パート一以外は、パート一と同様に対戦する二名を紅白に分け、元立ちの先生に対して最初に切り返しを二回行い、続けて打ち込み(面二本、小手二本、胴二本、面二本)を連続で行った後に判定を行います。そして大会の締め、パート三での優勝者と小学五年生が一本勝負(判定試合ではない)を行い、グランドチャンピオンを決めます。

今回は、初の試みでの試合でしたのでかなり不安はありましたが、子供が大人を負かす場面もあり観客も参加者も大いに盛り上がったと思います。大会最後に

は、竹淵審判長から試合講評を頂き、参加者全員と先生方は参加賞として可愛らしい剣道ストラップが貰えました。なお優勝者には優勝賞品を次回以降の稽古で授与することを約束し、みんな笑顔で終えることができました。

私は、この大会を通じて子供達が礼儀作法や基本の大切さについて分かって貰えたら大成功だったと思っています。来年以降は、更に工夫を加え今年以上に盛大な錬成大会が出来るよう企画したいと思います。

(参加賞の剣道ストラップ)



第1回田端剣友会錬成大会 (田端小学校)

【特別寄稿】

関ヶ原祭古戦場にて(1)

建武会 井橋 満壽雄



天下分け目の関ヶ原の戦いと言われて
いるが、そうではなく、実は小牧長久手
の戦いが天下分け目の戦いであるとの異
説がある。秀吉軍十万人に対して徳川軍
三万人であるにもかかわらず、秀吉軍別
動隊が家康の本拠地三河を突くという作
戦を見事に見抜き、叩きのめした戦い。

池田恒興、嫡男の池田元助、娘婿の森長
可が討死で、長久手の戦いでは秀吉軍の
完敗である。その後は膠着状態となる
が、秀吉軍十万人にもかかわらず三万の家
康に勝てない。家康は戦上手との名声を
さらに確実にし、秀吉は武家の棟梁たる
征夷大將軍になれなかった。仕方なく公
家の棟梁たる関白になったと評されてい
る。

さて、関ヶ原だが、石田三成は、我に
正義あり！正義は必ず勝つという信念に
基づき、「内府（内大臣徳川家康のこ
と）ちがひの条々」を発し旗揚げした。
しかしながら、人は自己の繁栄を基準に
動き、正義では動かない！これは後の大
坂の陣で証明される。豊臣恩顧の諸大名
のうち誰一人とも秀頼方にはつかないの

であるから。

秀吉の正室・ねね（又、おね）は、天
下はその時の最も実力のある者がなれば
良いと達観しており、秀頼の世襲を望ん
でいなかった。ねねの下で育った、お虎
（加藤清正）、市松（福島正紀）黒田長
政、甥の小早川秀秋等に家康殿にお味方
なされと薫陶していたと言われていた。

秀頼の母・淀殿は、秀頼の世襲が当
然！それを妨げるものは悪人と考えてい
た。秀吉が淀に城を築きプレゼントして
いるので淀殿といわれている。そして、
信長の妹・戦国一の美人と誉高いお市の
方と浅井長政との三姉妹の長女（茶々）
である。同系列のDNAを継ぐ信長の姪
である。間瀬道三の診察を受けている。
そのカルテにヒステリーと書かれてい
る。末の妹は徳川秀忠の正室になってい
る。

戦国一の美人と誉高いお市の方は後
に、柴田勝家と再婚している。信孝（柴
田勝家が烏帽子親であり、清州会議に於
ける後継者争いの後ろ盾）の計らいであ
る。叔母であるお市の方に頼み込んだの
でしょう。もし相手が秀吉であったら首
を縦には降らなかつたでしょう。その
時、秀吉は大変悔しがったという。お市
の方は木下藤吉郎の高値の花だったので
ある。お市の方は猿が大嫌いであった。
小谷城を攻めて満腹丸を磔にしたのは猿
である。お市の方に最も似ていたのは猿
茶々である。秀吉の長年の夢を娘で叶え
たということか！

信長は、朝倉義景・浅井久正・浅井長
政の頭蓋骨を盃にして新年の祝いの席で
酒を家臣に振舞った。秀吉は喜んで笑顔
で飲み、柴田勝家は泣き笑い顔で飲ん

だ。明智光秀は飲めず信長の折檻を受け
た。お市の方の思いはいかばかりであつ
たか！（いろいろ思いつくまでに書いて
います。）

浅井長政はなぜ信長を裏切ったのか？
居並ぶ諸将の前で、信長は長政をぬる
やか者と罵り、家康殿とよび、長政と呼
び捨てにしたそう。信長にしてみれば
弟だからではないか！

信長の下で、出世頭はほとんどの人
は、秀吉と思っているのではないかし
かし、さにあらず、明智光秀なのであ
る。本能寺の変の時期では、对上杉北陸
方面軍団長が柴田勝家、対北条関東方面
軍団長が滝川一益、対毛利中国方面軍団
長が羽柴秀吉、対四国方面軍団長が丹羽
長秀であり、光秀は信長の最も信頼熱い
統合参謀長だったのである。家康の謀臣
本多正信のような存在であった。本能寺
の変は戦国最大のミステリーである、
まったく興味が尽きない。明智光秀の単
独犯であるのか？ 黒幕の存在は？ 動
機は？ 諸説あり。明智光秀の子孫の方
の研究により明らかになった事実と主張
する説が最も興味深く且つ説得力があ
る。簡単に述べる。実は信長にとって同
盟者である家康が最も怖かつた。例え
ば、姉川の戦い！ 信長勢一万五千が浅
井勢六千の先鋒磯野員昌に十四段の備え
をあっけなく蹴散らされ十四段目で辛う
じて防いでるときに、信長は、もはやこ
れまでと、切腹の支度を始めたところ、
家康勢五千 家康の命を受けた榊原康政
五百が朝倉勢一万五千の横腹を突くと、
朝倉勢総崩れとなる。それを見た浅井勢
も総崩れとなる。いわば信長勢一万五千
を用しながら五千の徳川勢に救われてい

る。信長は家康に感謝どころか恐れを抱
き将来の禍根としてしまった。武田勝頼
を天目山にて自刃に追い込み、東の脅威
がなくなり、家康はもはや用無しとなる
どころか脅威になってしまった。甲州攻
めの帰り道を富士山が見たいと称して東
海道を選んだのは、家康の領地を見聞す
るためであった。また同道させたのは、
明智光秀とその与力大名である細川忠興
であり、徳川領を攻めるときの大將に予
定された者と考えられる。道々、信長と
光秀は二人きりでの密談を重ねていたと
いう。そして家康を上方見物に招待し且
つ本能寺にて家康主従を討ち取ってしま
う計略であった。そのため本能寺では小
姓僅か三十名しか置かず家康主従五十名
に襲われたと装うのである。そこを明智
光秀軍が駆けつけ家康主従を討ち取る
という筋書きであった。敵は本能寺にあり
光秀の兵卒は動揺しなかつたという。
本能寺の信長ではなく家康を討つものと
信じていたとする一次資料がある。

信長の小姓である弥助（黒人）が生
き逃れ、証言している。余は自ら死を招
いてしまった！（謀反人は誰かを確認し
てくるとの問いに）是非に及ばず と答
えたと 光秀に決まっているから信長に
してみれば、まさか光秀が裏切るとは
思ってもみなかつたというところであろ
う。ではその動機は？ 信長は天皇の上
を望んでいた。それは安土城の造りを見
れば想像できる。天主から御所を見下ろ
すかたちになっている。光秀は保守的な
人間であり、関白近衛前久あたりから教
唆されていたのではない。信長が死ん
だど聞いて近衛前久他公家たちは祝杯を
挙げていた。光秀が山崎の戦いに敗れた

と聞いてにわかには頭を丸めて坊主になっ
ている。秀吉への命乞いか？

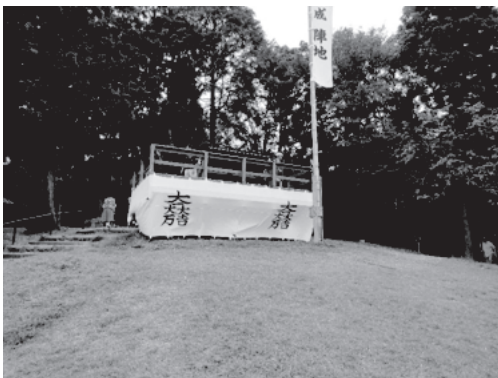
光秀は本能寺の前に、盟友である細川
藤孝に事前に協力を求めている。藤孝は
最初乗り気であったが、家臣（名前は忘
れた）に強硬に反対され出家してしまっ
た。その家臣が秀吉に注進している。そ
してその家臣は秀吉から考えられないほ
どの加増をうけている。秀吉は現在の刑
法理論でいう不作為による片面的帮助犯
であろう。本来ならすぐに信長にご注進
せねばならないのにそれをしなかった。
中国大返しなど、事前に準備していなけ
れば到底出来ないであろうといわれてい
る。光秀にしろ秀吉にしろその動機は？
信長は宣教師に言っている。天下平定
後、明に討ち入ることを。当然光秀も秀
吉も宣教師からそのことは聞いている。
日本軍が陸戦を ポルトガルが海戦を受
け持つ。光秀も秀吉もそれが嫌だったの
である。当時の日本軍は世界最強の軍隊
であったと思われる。鉄砲の数が信長だ
けでも三千丁ある。当時のヨーロッパの
戦争で使われた鉄砲の数は僅か三十丁と
いわれている。そして日本刀の切れ味！
（無銘の日本刀にコルト四五口径の拳銃
の弾丸を当ててみた実験で、見事真っ二
つに切れている）向かうところ敵なしの
最強の軍隊であろうこと間違いなし！
しかし 光秀も秀吉も もう勘弁してく
れという心境だったのであろう。

家康にとって光秀は命の恩人なのであ
る。光秀の筆頭家老の斎藤内蔵助利三の
娘おふく（後の春日局）を乳母として召
し抱えたのは そのことの恩義を感じて
のことか！その昔徳川方についたと今川

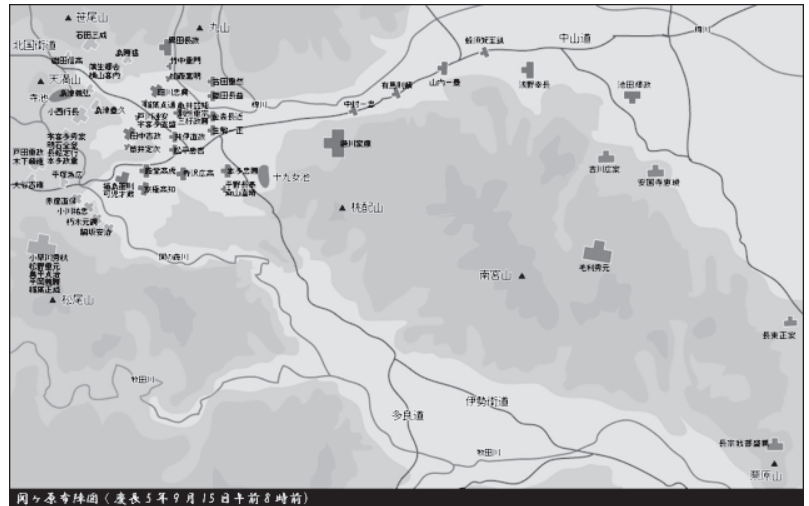
に疑われ殺害された井伊直親の子 井伊
直政を召し抱えたのと同じ思いか！？

尚 徳川家の公式記録 徳川実記には
家光の生母はおふくであると書いてあ
る！父親は家康であるという説もある。
日光東照宮には三つ葉葵ではなく、桔梗
（光秀の紋）だらけ。明智平という地名
もある。突然現れた家康のブレーン天海
なる者は光秀であるという説もある。天
海とは初対面であるはずのおふくがお久
しゅうございますとあいさつしたそう
な！また光秀の書状と天海の書状から現
代において筆跡鑑定したところ同一人物
であると筆跡鑑定したところ同一人物
光の光は、明智光秀の光と考えられ
る！？

直接関ヶ原と関係ないことが長すぎた
か？
関ヶ原布陣図をかかげる。これを見
て、明治の陸軍大学の教授として招聘さ
れたドイツ陸軍メッケル少佐は即座に西
軍の勝と言ったとのこと。
素人が見ても家康本陣は南宮山の毛
利勢がその気になれば袋のネズミではな
いか。
（次回会報に続く）



石田三成陣所跡 笹尾山



笹尾山から関ヶ原を一望



行事報告

敬称略

平成二十九年八月～十一月まで

剣道審査会結果

剣道教士号合格者

十一月二十七日 東京武道館

田口 学 (堀青剣)

戸谷 晴夫 (城北剣)

剣道錬士号合格者

十一月二十七日 東京武道館

平石 清和 (滝小剣)

斑目 晃子 (城北剣)

剣道七段合格者

八月十六日 長野市

黒岩 信夫 (滝五剣)

八月二十六日 福岡市

高須 直岐 (稲剣会)

十一月二十七日 東京武道館

佐藤 英一 (浮武錬)

剣道六段合格者

八月二十日 長野市

小林 夏樹 (建武会)

浦崎 秀和 (朝日剣)

十一月二十七日 東京八王子

小林 宏美 (城北剣)

川下 毅 (正心剣)

落合 俊二 (滝小剣)

黒須 伸治 (区役所)

剣道五段合格者

十一月十八日 東京武道館

浜西 理人 (東田端)

大平 寛大 (神剣会)

剣道四段合格者

十一月十八日 東京武道館

黛 文雄 (田端剣)

猫島 奈美 (城北剣)

江原 将也 (豊島剣)

安部 安則 (恒心会) 十月二十九日 滝野川体育館

三段 八名受審 合格者 六名

二段 二十五名受審 合格者 二十五名

初段 十九名受審 合格者 十九名

一級 四十四名受審 合格者 四十四名

居合道審査会結果

居合道七段合格者

十一月十八日 江戸川区スポーツセンター

遠藤 京子 (北居合)

居合道五段合格者

九月九日 東京武道館

石田 文夫 (北居合)

居合道三段合格者

九月九日 東京武道館

古澤 豪 (印刷局)

居合道二段合格者

九月九日 東京武道館

手塚 克子 (北居合)

居合道初段合格者

九月九日 東京武道館

岡部 博 (北居合)

杖道審査会結果

杖道二段合格者 十月二十八日 東京武道館

秋葉 久美子 (稲剣会)

沖 伸子 (恒心剣)

杖道初段 合格者

本谷 隆行 (堀青剣)

本谷 眞理士 (堀青剣)

杖道一級 合格者

大久保登志子 (東田端)

大会記録

敬称略

平成二十九年九月～十一月まで

剣道大会結果

第五十六回 東京都剣道選手権大会

九月二日(土) 東京武道館

個人戦六名出場

橋田 弘平 浅野 大将

吉永 大樹 岡崎 繁治

笹川 大瑛 佐々野 佑介

一回戦または二回戦

第五十回記念「少年剣道大会」巣鴨学園

九月三日(日) 巣鴨学園

【中学生の部 団体】

先鋒 川下 拓海

次鋒 鳥谷部 幸夫

中堅 糸洗 太朗

副将 平石 一輝

大将 西村 光陽

【中学生の部 個人】

川下 拓海

平成二十九年 都民生涯スポーツ剣道大会

九月三日(日) 東京武道館

【団体】女子

先鋒 川下 妙子

中堅 斑目 晃子

大将 福住 智子

予選リーグ「一勝」敗トーナメント上がれず

平成二十九年 東京都青年剣道大会

九月三日(日) 東京武道館

【団体】男子

先鋒 橋田 弘平

次鋒 浅野 大将

中堅 吉永 大樹

副将 北 宏志

大将 岡崎 繁治

代表戦一回戦負け

【団体】女子

先鋒 菅沼 千明

中堅 伊藤 美紀

大将 林 祐里

二回戦

第四十九回 東淵江少年剣道大会

九月十日(日) 足立区東淵江小学校

【小学生低学年の部 団体】

先鋒 中上 伸久

中堅 上條 偉吹

大将 李 志文

三位入賞

【小学生高学年の部 団体】

先鋒 糸 直秀

中堅 春日 颯太

大将 柴崎 翔吾

【中学生の部 団体】

先鋒 鳥谷部 幸夫

中堅 糸洗 太朗

大将 平石 一輝

【一般の部 団体】

先鋒 平野 明宏

中堅 川下 毅

大将 深澤 淳

二回戦

第四十九回特別区職員剣道大会

十月十四日(土) 東京武道館

個人戦 準優勝 宮原 忍 (北区役所)

【団体戦】優勝

先鋒 宮崎 涼 (区役所)

次鋒 神田 空太郎 (区役所)

中堅 市川 貴之 (区役所)

副将 黒須 伸治 (区役所)

大将 宮原 忍 (区役所)

(優勝した北区役所チーム)



居合道大会結果

第三十六回城北北区親善居合道大会

十一月五日 豊島区みらい館大明
北区の参加者 十六名
四段の部

準優勝 若月 京子 (武徳塾)
三位 金子 孝 (稲剣会)

第二十一回関東甲信越居合道大会

十一月二十五日 東京武道館
北区の参加者 十四名
三段以下の部

三段 古澤 豪 (印刷局)

- 四・五段の部
- 五段 島田 憲正 (北居合)
- 六・七段の部
- 六段 柳 徹 (北居合)
- 一回戦 敗退

表彰

敬称略

平成二十九年年度栄賞受賞者

十月九日(体育の日)午前九時に北区滝野川体育館において「第六十五回区民体育大会開会式」が開催。体育協会表彰が行われ、平成二十九年年度栄賞受賞者は、栄誉賞(栗田スポーツ賞)三名、功労賞七名、功績賞十四名が受賞した。

北区剣道連盟からは、次の三名が受賞しました。

- 栄誉賞(栗田スポーツ賞) 庭川富太郎 顧問
- 功労賞 橋本宗彦 常任理事
- 功績賞 緑川利男 理事

おめでとうございます。これまでのご尽力に深く感謝申し上げます。

会計部より

平素より、新口座(ゆうちょ銀行)ご利用のご理解、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

ご紹介

ゆうちょATMの **ご依頼人名(あなた様)のお名前を変更できます** 機能(手入力の場合)を使って、以下のような使い方をされている例をご紹介します。《月3回まで **無料** で振替(送金)が可》

ご依頼人名 (あなた様) **〇〇ヤマ▽▽タ**

- * 個人名義の口座だが、剣友会名に変更した
口座名: 〇〇ヤマ▽▽タ ⇒ ◇◇◇ケンユウカイ
 - * 剣友会名の後に、内容を入れた
⇒ □□□ケンユウカイ ケンドウサイサンカヒ
- また、一度振替先を登録すると、次回より**[振替先照会]**から選択することができ、入力が簡略化します。

訃報

庭川富太郎先生

北区剣道連盟 顧問

平成二十九年十一月三日

ご逝去

享年九十歳

謹んでご冥福をお祈りいたします。

▽発行日 平成30年1月1日

▽発行責任者

東京都北区剣道連盟

会長 工藤 秀丸
理事長 九万田 勉

▽編集責任者

北剣連広報委員会

吉澤 菊夫
佐藤 政雄
高橋 保博
金子 晃久

▽発行所

北区滝野川5-35-9星野
東京都北区剣道連盟

記号番号 00150・7 292796
郵便振替口座
名称 東京都北区剣道連盟